

❧❧❧ Book Review Corner ❧❧❧

① 猪浦道夫 著

『語学で身を立てる』

(集英社)

外大に入られた皆さんは、専攻語学を選んだきっかけは何だったのでしょうか。大学で学んでいる語学と、将来の仕事の関係を考えるのは大切な事です。自分がやりたい事は何か、それを目指すにはどうすればよいのか。本書の後半は通訳・翻訳に重点が置かれていますが、全体を通して言語の学び方や社会の厳しさなどは参考になるでしょう。英語のみならず、様々な言語にも言及されており、外大生のために書かれたような1冊です。

807.8-Ino (T.F.)



③ 上野恵司 著

『中国語考えるヒント』

(白帝社)

中国語も日本語も漢字を使う言語ですが、日本人にとって中国語理解は難しいものです。日本語と同じ漢字でも意味が違っていたり、ある日本語に対応する中国語に様々なものがあつたりと戸惑うことも多いのではないのでしょうか。

本書では、様々な中国語の語句について、意味や用法が解説されています。日本語との発想の違いや使い方を誤っているものについてもよくわかり、一読をお勧めします。

820.4-Uen (N.I.)



② 毎日新聞校閲部 編

『読めば読むほど』

(東京書籍)

書いた文章を後で読み直してみると、誤字や表現に困る箇所が見つかることはよくあることと思います。日本語を正しく使うことは、なかなか難しいものです。

本書は毎日新聞に連載されているコラムをまとめたものであり、校閲作業の中で出てきた日本語に関する疑問や間違いなどが紹介されています。日本語について様々な知識が身につく、正しい日本語を使うために大変役立つ書です。

810.4-Yome (S.I.)

④ 川上隆朗 著

『インドネシア民主化の光と影：寛容なるイスラム大国』

(朝日新聞社)

本書はアジアの二大イスラム大国であるパキスタンと、インドネシア大使を歴任した元大使(現JICA総裁)の回顧録です。

インドネシアが多様な宗教の共存を是認する穏健なイスラム国家であり、経済危機や東チモール問題など、相次ぐ政変と政争、経済や社会不安の荒波に揺れながらも、改革と民主化の道に向かって着実に歩み出しているもう一つのイスラム大国の姿を克明に描写。

わが国にとっても重要な友邦国であるインドネシアの理解に大いに役立つでしょう。

312.24-Kaw (T.K.)